

第23回

鈴鹿市脳卒中市民講座開催 入場無料

テーマ

「今日からできる！ 脳と心臓を守る生活術」
～脳卒中・認知症・心臓病の予防とリハビリの最新情報～

開催日時 令和7年6月29日(日)午後1時より

開催場所 ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿(文化会館)

〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町810 TEL:059-382-8111

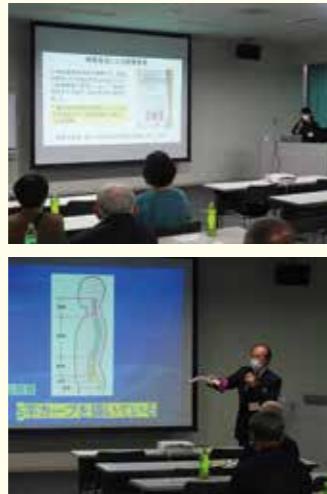
メディカルチェック

令和7年3月9日(日)、10歳代～40歳代のクライミング選手10名を対象に、当院でメディカルチェックを行いました。整形外科医による診察、理学療法士と健康運動指導士による計測や体力評価、薬剤師によるアンチドーピング講習など、多職種によるチェックとフィードバックを実施しました。今後の競技の安全とパフォーマンス向上に役立てていただければ幸いです。



健康セミナーを開催しました

令和7年3月8日(土)健康セミナーを開催しました。今年の講演は、薬剤師による「健康食品について」と健康運動指導士による「タイプ別 猫背の原因&改善」の2テーマでした。また、フロアイベントでは健康運動指導士による姿勢チェック 猫背改善ストレッチ講座、保健師による各種計測(握力、長座体前屈)健康相談、管理栄養士による栄養相談および食品塩分チェックを行いました。ご参加いただきましてありがとうございました。来年のご参加もお待ちしております。



病院の理念

病院の方針

- ▶個人の尊厳を守ります
- ▶地域の基幹病院として医療機関と連携し健康の増進に貢献します
- ▶災害時に救援活動を行います
- ▶チーム医療を推進し安全で高度な医療を提供します
- ▶将来を担う有能な医療従事者の育成に努めます
- ▶働きやすく健全な病院運営に努めます

生命への奉仕

ほっと smile
新任医師を紹介します

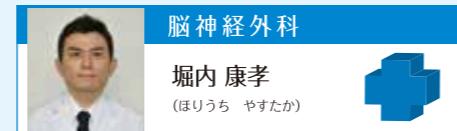
放射線科

長谷川 大輔
(はせがわ だいすけ)

消化器内科

大内 祐介
(おおうち ゆうすけ)

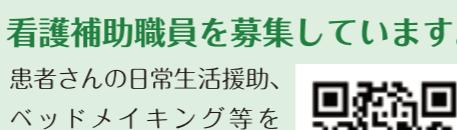
整形外科

寺田 有輝
(てらだ ともき)

脳神経外科

堀内 康孝
(ほりうち やすたか)

脳神経内科

鶴飼 美沙
(うかい みさ)

看護補助職員を募集しています。

患者さんの日常生活援助、ベッドメイキング等を行って頂きます。経験のない方でも大丈夫です!! 病院見学も随時しております。お気軽に問い合わせください。



担当: 看護部 横田

TEL 059-375-1332(看護部直通)

編集後記

皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町112番地の1
TEL 059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com

再生ニュース

K a i s e i N e w s

- 1 医療の現場から「新入職員紹介」
- 2 あなたの街のお医者さん「亀山透析クリニック」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
- 4 鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・誤嚥予防 Part6
・～食物繊維強化の～アッセイパルマシティ工
- 6 病院薬剤師によるくすりと健康情報局 VOL5
・もしかして、薬の飲み過ぎ?
～ポリファーマシーと退院時薬剤情報連携～
- 7 Information ほっと smile 他

138号

2025.5月発行

発行／社会医療法人 峰和会

編集／鈴鹿回生病院

所在地／鈴鹿市国府町112番地の1

TEL／059-375-1212

FAX／059-375-1717

URL／http://www.kaiseihp.com

編集協力／TCKnagoya

今年も新入職員が入職しました



リハビリテーション課／理学療法士

平林 寛大(ひらばやし かんた)
4月から新人理学療法士として働かせて頂くことになりました。患者さん一人ひとりに寄り添い、先輩方から多くのことを学びながら、日々成長していきたいと考えております。ご指導のほどよろしくお願い致します。



事務管理部／医事課

宮坂 真生(みやさか まお)
4月から当院で働かせて頂く事になりました。先輩方にご指導頂きながら、学び、成長していきたいです。正確に丁寧な仕事を心がけて、皆様に信頼していただけるように精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。



看護部／看護師

篠原 佑麻(しのはら ゆま)
不安と緊張の気持ちでいっぱいですが、学ぶ姿勢を忘れず、日々成長していくように励みたいと思います。そして、患者さん一人一人の想いに寄り添える看護師になれるように頑張ります。



臨床検査課／臨床検査技師

車谷 歩香(くるまたに あゆか)
分からないことが多い不安ばかりですが、先輩方にご指導頂きながら日々知識と技術を高め、様々なことに挑戦して成長していきたいです。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



放射線課／放射線技師

藤本 花波(ふじもと かなみ)
チーム医療を大切にし、患者さんに安心感を与える接遇を心掛けていきたいです。また、より良い画像になるよう、新しい知識や技術を学び続けていきたいです。よろしくお願ひします。



薬剤管理課／薬剤師

青木 奏里(あおき かなり)
4月から当院で働かせていただくことになりました。まだまだ未熟ではありますが、笑顔と向上心を忘れず、患者さんや職員から頼っていただける薬剤師になれるよう、精一杯頑張ります。



2025 新入職員紹介

Suzuka kai

2025 新入職員紹介

Suzuka kai

2025 新入職員紹介

鈴鹿回生病院
令和7年度 入職式

Suzuka kai

病院薬剤師による くすりと健康情報局

もしかして、薬の飲み過ぎ? ～ポリファーマシーと退院時薬剤情報連携～

近年、多くの薬を服用することによって起こる「ポリファーマシー」が問題となっています。
今回はポリファーマシーの原因や、予防するための取り組みについて紹介します。

ポリファーマシーってなに?

ポリファーマシーとは「たくさんの」を意味する「ポリ」と、「調剤」を意味する「ファーマシー」を合わせた言葉で、多くの薬を服用することにより副作用が起こったり、飲み忘れ・飲み間違いが起こったりする状態をいいます。たくさんの薬を飲んでいることが問題ではなく、必要以上の薬・不適当な薬が処方されていることで好ましくない症状が起こることが問題とされています。



ポリファーマシーの原因は?

一つの医療機関から処方された薬は少なくとも、複数の医療機関・診療科を受診すると、全体として薬の種類は増えてしまいます。また、薬によって起こった症状を別の薬で対処しようとすると薬が増えてしまいます。これにより薬が重複したり、複数の薬が影響し合ったりすることが原因とされています。

ポリファーマシーを防ぐために病院薬剤師が行っていること

入院した患者さんが持参する薬の内容について、医師や看護師などの医療スタッフや患者さんから収集した情報をもとに、患者さんの病態や意向を確認した上で、必要に応じて減薬を医師へ提案しています。また、入院中に持参した薬の内容に変更があった場合には、退院時に見直した内容や理由等を記載した文書を作成して調剤薬局へ情報提供を行い、地域と連携した服薬支援ができるよう取り組んでいます。

患者さんにご協力いただきたいこと

●お薬手帳は1冊にまとめましょう

お薬手帳を1冊に集約する、またはかかりつけの薬局を1か所に決めることで、複数の医療機関にかかりついていても薬剤師が処方内容を把握しやすく、薬の重複や相互作用に気付きやすくなります。

●マイナ保険証を活用しましょう

マイナンバーカードを健康保険証として利用することで、診療・薬の情報を医師・薬剤師に共有でき、薬の重複を避けることができます。

●医師や薬剤師に体調の変化を伝えましょう

症状が改善していれば、薬の減量や中止ができる場合もあります。反対に、薬を正しく服用できていなかったために症状が悪化することもあります。薬を漫然と継続しない、不必要的薬を増やさないためにも日頃の体調の変化で何か気になることがあれば、ぜひ医師や薬剤師に相談してみましょう。



筆者プロフィール

薬剤師 刀根理香子

病棟薬剤業務を担当するとともに、新人薬剤師教育なども担当。日本栄養治療学会 栄養サポートチーム専門療法士、日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師。

医食動源



誤嚥予防 Part6

今回は自分の飲み込む力を簡単に調べる方法をご紹介します



Step 1 »

うがいや少量の水を飲むなどして口を湿らせる

Step 2 »

のど仮に中指を軽く当てる

Step 3 »

できるだけ速く唾液を飲み込みその回数を数える(30秒間)



言語聴覚士
堀江恵里佳

Point

のどに手を当て、のど仮が十分に動いているか確認してください

何回飲みめたでしょうか?

30秒間で2回以下なら、飲み込む力が弱くなっている可能性があります

飲み込みについて気になる場合、まずはかかりつけ医に相談してみてください

誤嚥は予防も大切です!今まで紹介した体操などで飲み込む力をつけましょう!

発信@栄養管理室



管理栄養士
村上 清香

☆ポイント☆

アッシェパルマンティエはフランスでは日本の肉じゃがに位置する家庭料理です。基本の作り方では野菜が少なく脂質も多いですが、今回はミンチ肉を少なくし、その分きのこのみじん切りを加えることで食物繊維量が増え、脂質を減らすことができます。食物繊維は基本の作り方よりも2.0g多いです。2.0gと言うとトマト2個分、ゆでキャベツなら100g分です。ホワイトソースも豆腐を使用したソースに変更して肉を減らした分のタンパク質が補えるよう工夫しました。

少し行程が多いですが美味しいの是非作ってみて下さい。

食物繊維強化の

アッシェパルマンティエ

材料 1台分(18cm型)

じゃがいも	6個
バター	40g
牛乳	300g
絹ごし豆腐	200g

ミートソース

合い挽き肉	150g
玉葱	中1個
しめじ	1袋
まいたけ	1袋

ニンニク

オリーブオイル

トマト缶

コンソメ

ケチャップ

赤ワイン

ピザ用チーズ

黒コショウ

作り方

- ①じゃがいも6個の内4個はゆでてつぶす。
- ②じゃがいも残りの2個はスライスして電子レンジ500W6分軟らかくなるまで火を入れる
- ③玉葱、しめじ、まいたけ、ニンニクはみじん切りにしておく
- ④オリーブオイルを鍋に入れ、③を軽く炒め、合い挽き肉を入れる。色が変わったらAを入れて煮込む。仕上げに黒コショウで味を整える
- ⑤軽く水を切った豆腐をあわだて器でよくつぶしながら混ぜて牛乳を加えてさらに混ぜる
- ⑥鍋に①を入れ、弱火にかけながら⑤を入れてよく混ぜる。
- ⑦耐熱皿に④を入れ、その上に⑥を入れて②を並べ、ピザ用チーズをのせて予熱した180度のオーブンで15分焼く

*写真用のため型で作りましたが、家で作る時は耐熱皿に敷き詰めて下さい

あなたの街のお医者さん

連携医療機関紹介

亀山透析クリニック



理事長
院長
伊與田 義信



腎臓専門医
若松 亮

令和6年1月8日開院しました

院長の伊與田義信先生は、1989年滋賀医科大学をご卒業後、中部労災病院にて研修を受け、東海市民病院、名古屋大学病院、常滑市民病院にて、血管外科医として研鑽を積みました。



「血管外科は血管を繋いだり拡張させ血行を改善させる分野ですが、透析には動脈を吻合するシャント手術というものがあります。血管外科医として勤務する中でシャント手術の技術を学び、それが血管外科と透析医療をつなぐ架け橋となり透析医療との関わりが生まれました。常滑市民病院に勤務していた頃、天野記念クリニックから院長就任の打診を受け、10年間院長として務めました」。その経験から透析で開業を考えるようになったのだそうです。もともと愛知県出身の先生、名古屋で開業を考えていたそうですが名古屋には、透析クリニックは飽和状態だったといいます。当院は『透析クリニック』と標榜していますので透析専門のクリニックと思われがちですが、透析だけではなく、腎臓を守るために開業したクリニックです。少しでも多くいるとのことを聞き、必要とされる場所での開業をめざされます。とはいえた三重県には縁がなかった先生。遠山病院で内科医としての実績を積み2010年4月に津みなみクリニックを開業されました。そして三重県での診療も15年が経過した2024年1月、分院として亀山透析クリニックを開業されたのです。

透析だけではなく、腎臓を守るために開業されました。亀山透析クリニックには三つの重要な柱があります。

1つ目は「無料送迎」です。人口の割に面積が広い亀山地区では、このサービスが大変重宝されています。

2つ目は「シャント手術の常勤医がいること」です。手術は院長の伊與田医師が担当し、広い手術室に最新のエコーヤーカーとアームCTを完備。ご自身の血管を利用したシャント手術のほか、人工血管シャント(グラフト)にも対応しています。また、シャントが難しい患者さんは、留置型カテーテルの処置も行っています。

3つ目は「常勤の腎臓内科医がいること」です。三重県は腎臓内科医が少なく、透析施設があっても透析患者を診察する肝心の腎臓内科医が不在の施設も少なくありません。亀山透析クリニックの腎臓専門医である若松医師は2004年愛知医科大学をご卒業後、同大学にて初期研修から後期研修までを経験されたのち、さまざまな医療機関にて腎臓内科医として研鑽を積みました。2022年8月、津みなみクリニックに腎臓内科医として加わり、現在は亀山透析クリニックにて3つ目の柱である常勤の腎臓内科医としてご尽力されています。若松医師は「透析患者さんはもちろん診させて頂くのですが、腎臓の悪い方が透析にならないように腎臓を守る事に力を入れています。当院は『透析クリニック』と標榜していますので透析専門のクリニックと思われがちですが、透析だけではなく、腎臓を守るために開業したクリニックです。少しでも多くいるとのことを聞き、必要とされる場所での開業をめざされます。とはいえた三重県には縁がなかった先生。遠山病院で内科医としての実績を積み2010年4月に津みなみクリニックを開業されました。そして三重県での診療も15年が経過した2024年1月、分院として亀山透析クリニックを開業されたのです。

DATA

TEL 0595-83-0555

住所

亀山市羽若町833-5

診療科目

●透析内科 ●血管外科 ●腎臓内科

外来診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／1時00分～5時00分

午前透析 8:00～ 午後透析 13:00～

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	×	○	×	○	×	×

外来休診日

火曜午後、木曜午後、土曜午後、日曜日、祝日



透析センターの診療時間についてはこちらをご確認ください
<https://kameyama-touseki.clinic/>

も腎臓機能が悪いと言われた方はお越しください。

患者さんへのメッセージ

透析の患者さんは、腎臓を守るために仕組みとして病院との連携は非常に重要です。その為鈴鹿回生病院さんには全てにおいてお世話になっています。透析の患者さんは、これまで腎臓を守ることを重視していますが、透析になった瞬間に血管に関わるもの全てを守らなければならなくなるんですね。ですから、入院が必要になったり、万が一何かあれば鈴鹿回生病院さんに紹介させていただきますので、安心して受診していただければと思います。今後もこの地域の腎臓を守るクリニックとしてご活躍されることでしょう。